

中越パルプ4～6月期

為替差益の減少で減益に

(東京通信) 中越パルプ工業の四～六月期連結業績は売上高二億二六一億九七〇〇万円(前年比八・一%増)、営業利益一一億八、五〇〇万円(七・三%増)、経常利益一五億一、三〇〇万円(一五・五%減)、純利益一〇億四、〇〇〇万円(二七・二%減)、為替差益の減少で経常・最終は減益。

紙・パルプ製造事業は売上高二三四億六、七〇〇万円(一〇・五%増)、

営業利益一〇億八、〇〇〇万円(三五・〇%増)。新聞、印刷用紙は需要減とデジタル化の進行で数量減。金額面は価格改定により上回った。パルプ販売は設備増強により数量・金額ともに前年超え。発電事業は燃料高騰などで売上高一七億五、二〇〇万円(二・九%減)、利益八、五〇〇万円(五四・一%減)と減益。その他の売上高は三九億三、三〇〇万円(一一・五%減)、利益一、六〇〇万円(七六・九%減)。

荒川化学4～6月期

減収、赤字転落

(大阪通信) 荒川化学工業の四～六月期連結業績は売上高一七二億九、八〇〇万円(前年比一八・三%減)、営業損失八億三、四〇〇万円(前年五億七、一〇〇万円の利益)、経常損失六億七、〇〇〇万円(同七億二、二〇〇万円同)、純損失三億一、四〇〇万円(同三億七、六〇〇万円同)となった。原材料価格、エネルギーコストの高止まりや半導体不況での電子部品需要の低迷、五月下旬運転開始の千葉アルコン製造の減価償却費増加が影響した。

製紙・環境事業は売上高四七億八〇〇万円(四・二%減)、利益八、九〇〇万円(二一・〇%増)。機能性コーティング事業は売上高三五億三、六〇〇万円(一四・二%減)、利益三、三〇〇万円(八四・七%減)。粘接着・バイオマス事業は売上高六二億二、三〇〇万円(二七・三%減)、損失九億四、四〇〇万円(前年四、二〇〇万円の損失)。ファイバー・エレクトロニクス事業は売上高二億一、二〇〇万円(一九・五%減)、損失九、八〇〇万円(同一億六、六〇〇万円の利益)。

中央紙器4～6月期
原材料高騰で減益
(中京通信) 中央紙器工業の四～六月期連結業績は売上高二八億六、七〇〇万円(前年比六・九%増)、営業利益八、八〇〇万円(二六・三%減)、経常利益一億一、三〇〇万円(三一・二%減)、純利益七、六〇〇万円(三二・八%減)となった。販売数量減少も価格改定により増収。利益面では原材料・エネルギー高騰の長期化を販売価格改定で完全には吸収できず減益。

中央紙器4～6月期

原材料高騰で減益

(東京通信) 巴川製紙所のGDL(ガス拡散層)開発が、NEDO公募の「燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業」に採択された。同社が提案した高生産性・低環境負荷・低コストを実現する炭化工程を必要としないGDLの技術開発。抄紙技術と加工技術を活用し、従来GDLの製造に必要なカーボンペーパーの抄紙から始まる炭化工程の省略を目指す。

巴川製紙所のGDL技術開発採択

リックス西東京営業所が移転
(東京通信) リックスは一日付で西東京営業所を移転した。新所在地は〒一九二一〇〇四六・東京都八王子市明神町三二〇一六 八王子ファーストスクエア七階、TEL〇四二一六三四一九二五、FAX一九二六。

河村商事「学乳パックリサイクル」呼び掛け

トミールの認定基準を満たし、三ツ星の評価を受けた。
◇…(中京通信) 河村商事(河村篤前社長)は、使用済み学乳パックを回収、破砕・洗浄した後に製紙メーカーに製紙原料として紙に戻すリサイクルに取り組んでいる。学乳パック(学校給食牛乳)は牛乳パックと異なり禁忌品で可燃ごみやサーマルリサイクルにされることが多い。同社では焼却している学校や自治体にリサイクルを呼び掛けている。

29日、高知で生産性向上セミナー

◇…(四国通信) 高知県は二十九日午後二時から、高知市の県工業技術センターで県内事業者対象に「生産性向上セミナー」を開催する。参加無料。対面かオンラインのいずれかを選ぶ。二十五日締め切り。申し込みは電子申請システムかメール。問い合わせは県商工労働部工業振興課、TEL〇八八八二二九九七二四。プログラムは次の通り。

◇…▽「生産性向上の手段としてのインターストリアル・エンジニアリング」皆川健多郎 大阪工業大学情報科学部データサイエンス学科教授▽「高知県生産性向上推進アドバイザーによる県内企業の取組事例」その①田村IE技術事務所田村豊氏、その②香川改善オフィス香川博昭氏▽「県からのご案内」セミナーや支援策の情報など。